

改善計画書

施策番号	局・部	担当課	職名	氏名	電話番号(直通)
31430	環境経済局 経済部	商業サービス業課	課長	沖津 茂寿	042-769-9255
施策名	高感度な商業サービス業の集積				

1 施策の目的

個性や専門性などの個店の特色を生かした魅力づくりや新商品・サービスの開発などによる商業ベンチャーの創出を支援することで、高感度な商業・サービス業の集積および商店街の活性化を図る。

2 取組み(目的達成するため、課題解決に向けて取り組んだ内容・事業)

- チャレンジショップ支援事業をPRするためのポスターを作成、市内に掲示した。
- 創業支援セミナーを開催した。
- チャレンジショップ支援事業の応募者を募り、入選者を選考する審査会を開催した。
- 入選者に対する開業指導を行った。
- チャレンジショップ支援事業の入選者で商店街の空き店舗等に入居した者に対して奨励金を交付した。

3 実績値の分析(目標値に対する実績値について、取組み内容の効果・成果を分析する)

- 「チャレンジショップの開業店舗数」については、ポスターによるチャレンジショップ支援事業の周知、創業支援セミナー開催による開業希望者の意欲やビジネスモデルの質的向上、入選者に対する開業指導及び奨励金の交付により、目標を達成することができた。
- チャレンジショップ支援事業の成果指標の設定にあたっては、国が実施する商業統計調査や市が実施する通行量調査の調査頻度が、数年に一度となっており、出店効果を正確に表す成果指標がないため、活動の度合を示す指標を設定した。今後、施策の統廃合・再構築を行うなかで施策の目的を勘案し、新たな指標設定を行うとともに、商店街に対するアンケート調査の新規実施や通行量調査の調査頻度を増やし、成果の把握に努めたい。

4 平成20年度評価結果(3次評価での指摘事項及び意見)

1次評価	C	2次評価	C	3次評価	C
------	---	------	---	------	---

- ◆ 31420(施策名: にぎわいのある商店街づくりの支援)と同様でチャレンジショップの成果が測れる指標「商店街の販売額」や「商店街の来客数」を出店の前後で測定すること。

5 改善に向けたスケジュール

改善項目	平成 20 年			平成 21 年												平成 22 年		
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①来客数調査の実施																		
○調査内容の検討 (平成 22 年度、調査実施予定)																		
②商店会アンケート調査の実施																		
○アンケート調査項目の検討 (販売時実績等)																		
○アンケート調査の実施																		
○アンケート調査の集計・分析 指標としての検討																		● 指標 設定
③施策の統廃合・再構築 (特色ある商業地の形成、にぎわいのある商店街づくりの支援、高感度な商業サービス業の集積)																		
○従来の商業振興施策の検証																		
○各施策にまたがる課題の整理																		
○新しい総合計画での施策統合・再構築																		
○新施策の指標の検討																		● 設定
○構成事務事業の見直し																		● 予算 に反 映